

開脚膝受けM

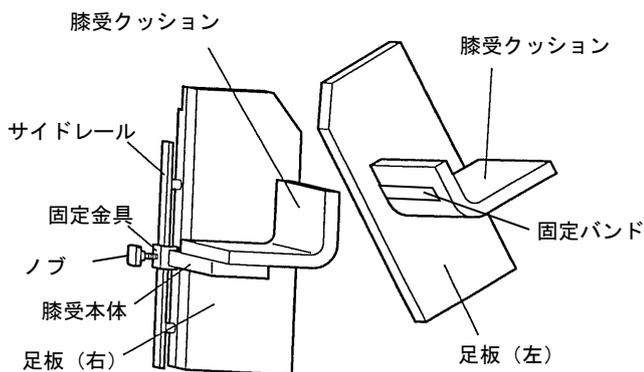
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラベルモント製の高さ32mm×板厚9mmのサイドレールを使用する手術台以外には、取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



2) 機器の仕様

- ①固定金具のノブ操作により、手術台のサイドレールに着脱させることができます。
- ②固定金具のノブ操作により、膝受本体の取付位置を調節できます。
- ③許容負荷荷重：膝受本体（片側） 250N(25kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10~40℃ 相対湿度 30~75% 気圧 700~1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に取り付け、内視鏡検査時に患者の膝または足を支える為に使用する。

【使用方法等】

1) 取付・設置(組立・据付)

- ①手術台を水平位にして、固定金具を手術台の左右のサイドレールに取り付け、膝受本体を固定金具に差し込み、ノブを時計回りに廻して固定します。
- ②膝受クッションの固定バンドで固定されていることを確認します。
- ③膝受本体がサイドレールに固定されているか確認します。
- ④膝受本体を取り外すときは、手術台を水平位にします。

2) 操作方法又は使用方法

- ①膝受本体の位置を変えるときは、手術台を水平位にし、左

右のサイドレールの固定金具のノブを反時計回りに廻してゆるめます。

- ②膝受本体の位置を変えた後、左右のサイドレール両側の固定金具のノブを時計回りに廻して固定します。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①サイドレールに確実に固定されているか確認すること。確実に固定されずに使用されますと、手術中に膝受本体が不意に落下し思わぬ事故の原因になります。
- ②膝受本体を着脱させるときは必ず手術台を水平位にすること。水平位になっていないと、着脱の際に膝受本体が落下し、思わぬ事故の原因になります。
- ③膝受本体に患者を乗せた状態でノブをゆるめないこと。膝受本体が落下して患者がすべり落ち、思わぬ事故の原因になります。
- ④膝受本体(片側)に許容負荷荷重(25kgf)以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ⑤使用後は清拭作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。[清拭作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール(70%)、4級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム(0.1~0.2%)をご使用ください。
- ⑥金属腐食性の強い消毒液(ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど)は使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・保管環境
周囲温度-20~60℃ 相対湿度10~90% 気圧500~1060hPa

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は10年です。(自己認証(当社データ)による)
※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。
- ・クッション部品は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検(日常点検)〉

- ・サイドレールへの接続状態の確認。
- ・外観の破損状態の確認。
- ・取付状態の確認。
- ・各部が正確かつ安全に固定及び解除できることの確認。
- ・ゆるみ、ガタ、傾き、臭気などの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行なった後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

〈消耗品〉

ご使用によって磨耗や劣化、外観の変化、破損が予測される部品です。修理や交換の場合は保証の対象外となります。

- ・膝受クッション

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行ない、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラメディカル株式会社

TEL : 06-6499-3461

販売業者